

令和
8年
七月



令和 8 年度 Vol.2

第 2 回 学校運営協議会

第2回学校運営協議会（令和8年7月2日開催）の内容を報告します。

発行・文責：

糸島市立前原小学校 学校運営協議会委員

こどもたちの嬉しい大活躍のニュースから、学校の新しいサポート体制、そして 6 年生とのドキドキの交流会と、その後に繋がった感動の後日談まで、前小の「いま」と「これから」をたっぷりお届けします！

1. お見事！前小っ子の嬉しいニュース&地域からの声

地域の方から、学校へ嬉しい連絡が 3 件も届いたことが報告されました。

○5 年生が人命救助！

なんと 5 年生の児童が人命救助を行いました。子供たちの勇敢で冷静な行動に、地域からも大きな拍手が送られています。

○元気な挨拶で地域を笑顔に

「子供たちの挨拶がとても元気で嬉しかった！」という温かいお声も届いています。地域の見守りと子供たちの心の距離が縮まっている証拠ですね。

2. 6 年生から直撃インタビュー！「大人の想い」に触れた時間

教室で行われた 6 年生との交流会では、こどもたちが事前にしっかり質問を準備して待ちました。「どんな思いで自分たちを支えてくれているの？」という問いかけに、委員の皆さんも真剣に応じました。

〔委員の感想〕

- 「こどもたちがキラキラした目で前のめりに話を聞いてくれて嬉しかった（溝江委員）」
- 「スマホやオンラインゲームもいいけれど、みんなで外で遊ぶことも大切だよ、という話ができました（川崎委員）」
- 「大人の顔や名前を覚えてもらうために、今後は役職がわかるタスキなどをつけて参加するのも良いですね（廣川委員）」



【感動の後日談】想いは未来へ紡がれる…… このインタビューには、とっても素敵な後日談があります！

7 月 10 日、6 年生の国語と総合的な学習の時間の授業で、「～絆～ 聞いて考えを深めよう」というテーマの発表会が開催され、委員のメンバーも参観に行ってきました。

こどもたちは班ごとに分かれ、インタビューした委員の「想い」について発表。どの班も大人の話をただメモするだけでなく、「その想いを自分たちのこれからの生活にどう活かしていくか」を深く考え、丁寧にまとめて発表してくれました。大人のメッセージをこどもたちがまっすぐに受け取り、未来へと紡いでいく姿に、「糸島の未来へのバトン」がしっかりと渡されたことを実感できる、感動の発表会となりました。

3. ゲストティーチャー (GT) や支援員さんをつくる「豊かな学び」

前原小学校では、本当にたくさんの地域の方々「授業のサポート」に入ってくださっています。

遠足での民生児童委員さんの見守りをはじめ、2年生の野菜作り、3年生のひまわり観察(松吉委員と共に活動)、4年生のハマボウ学習(九州大学の先生と連携)、5年生の田植え(地域の方からお借りした田んぼで、今年は20名のゲストと実施)など、地域のプロが先生です!

家庭科のミシン・裁縫: 5・6年生の裁縫の授業では、永田委員をはじめ、毎時間誰かが指導補助に駆けつけてくれています。おかげでトラブルがあってもすぐ解決できて安心です。

4. 誰でも、いつでも。安心の居場所「レインボールーム」

学校運営協議会の中では、不登校支援教室である「レインボールーム」の取り組みについても話し合われました。レインボールームは、前原小学校の中に設置された、確実な成果が出ている「誰でも、いつでも来れるお部屋」で、当日も子どもたちと地域の方が楽しそうに活動をしている様子が見られました。

溝江委員や金ヶ江委員からも、地域と学校が連携した今後のさらなる活用法について意見が交わされました。

5. 美味しさの秘密は「糸島産」と「職人技」!給食試食会

今回の給食の献立は、「ごはん・レバーとジャガイモのカレー揚げ・小松菜のソテー・わかめスープ」。美味しさの裏側にあるこだわりが栄養教諭の先生から語られました。

□オール糸島産の恵み

お米は週1回精米したての糸島産「元気つくし」をガス釜で炊いています。小松菜、人参、生姜などもすべて糸島産です。

□なんと800食分を手切り!

異物混入を徹底的に防ぐため、調理員さんたちが毎日800食分の野菜をすべて手作業で切りながら食材をチェックしてくれています。

□月1回の「世界の料理」

こどもたちの食育のために、月替わりで世界の料理を提供。その日は西村先生が楽しいお昼の放送をして盛り上げています。



◆地域の声が子供たちの力に!「心のたからばこコーナー」◆

給食時間の放送の中で、地域での善行やがんばっている子どもたちを紹介する素敵なコーナーが始まっています!

たとえば、通学路の旗振りなど、あいさつ当番をなさった地域の方から寄せられた「子どもたちから元気な挨拶が返ってきて嬉しかったです!」という声をお届けしたところ、それを聞いてさらに挨拶をする子どもたちが増えたという、素晴らしい変化が生まれています。

ご家庭や地域からも、子どもたちの良いところを見つけたら、ぜひぜひ学校まで、どしどしお知らせください!みんなで褒めて、みんなで育てていきましょう!